

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生物多様性保全推進事業				事業番号	010-012
担当部署名	環境局	局	環境保全部	部	環境共生課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(3)ゼロカーボンシティの推進		
			有	取組の方向性	④生態系や緑の保全					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(5)陸の豊かさも守ろう		ターゲット	15.1,15.4,15.5		
			有	取組	生物多様性の普及啓発					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	2	関連計画			生物多様性・堺プラン					
	3	事業開始年度			平成 22 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 12 年度	
4	実施根拠			生物多様性基本法、地域生物多様性増進法						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市民、市内事業者、市民団体、学校園、教育機関等				対象数	単位
						804,163	人
						31,989	事業所
7	事業の目的	生物多様性基本法第13条に基づき策定した生物多様性・堺プランに基づく各種施策を実施することにより、生物多様性の認知度を高め、生物多様性に配慮した活動を促進する。					
8	事業内容	【情報発信（継続取組）】 ・市民参加型の生物多様性Webサイト「堺いきもの情報館」等により、生物多様性に関する様々な情報を発信し、また、小学生を対象とした生物調査授業を実施し、生物多様性の認知度の向上と市民・団体の活動を促進。 ・外来生物による生態系への被害防止や市民生活への影響を防ぐため、防除方法の発信や注意喚起等を実施。 ・生物多様性の保全に資する適切な対策を講じていくための資料として、堺市レッドリスト2021・堺市外来種アラートリスト2021を活用し、希少種・外来種を含む情報をSNS等で効果的に発信。 ・生物多様性に配慮した活動促進に向けた連携体制として、産学官民連携による堺市生物多様性ネットワーク会議を開催。 ・本市の生物多様性の現状と課題を踏まえた「生物多様性・堺プラン」に基づき、各種施策を実施。 【堺市レッドリスト・堺市外来種アラートリスト改訂業務（令和7～8年度）】 ・堺市内における野生生物の生息状況について、現状の把握を行うことを目的に、両リストの改訂を実施する。なお、両リストは生物多様性保全推進事業を進めるための基礎資料となるだけでなく、広く市民の生物多様性への関心と知識を高める教材として活用する予定である。 【特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策】 ・当昆虫によるサクラ等の食害が拡大している現状を踏まえ、令和7年度から5か年計画の取組として「堺クビアカ防除大作戦」を実施し、情報発信の強化に加え、防除講習会を開催し、市民による防除を促進する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	堺市レッドリスト・堺市外来種アラートリスト改訂支援業務委託業者、ウェブサイト保守運用委託業者					
10	公民連携・協働事業	外来種対策では、「クビアカツヤカミキリ」に関する啓発等についてセレッソ大阪と連携し、グッズや観戦チケットの提供を活用した参加促進によりクビアカハンターの参加拡大を図った。また、ホームゲームでの普及啓発やアンバサダー参画による駆除イベントの実施を通じて、対策の認知向上と市民参加の拡大を図った。					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
「堺いきもの情報館」の写真投稿件数	件	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
		実績値	2,701	2,258		
		達成率	108%	90%		
当該指標を選定した理由	市民が「堺いきもの情報館」へ写真投稿（いきもの発見報告）することで、より多くの市民が身近ないきものに興味・関心を持ち、生物多様性に配慮した行動変容の促進につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	写真投稿を通じて市民が行動した状況を測定するため、1,500件/年を当初目標として設定。令和6年度に実績値を踏まえ、目標値を見直し。希少種や季節性のある種等の投稿の促進も行いつつ、現状維持できるよう、目標値を設定。なお、令和7年度以降は、クビアカハンターからの投稿は実績には含めず、別途集計する。					

活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
Instagram配信回数	件	目標値	100	120	120	
		実績値	124	114		
		達成率	124%	95%		
当該指標を選定した理由	効果的な情報発信・拡散が見込めるSNSを通じて、堺のいきものなどの写真や情報を定期的に配信することで、広く市民等に生物多様性に興味・関心を持ってもらい、活動促進につなげるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	定期的な情報更新により、新規ユーザーやリピーターに継続的に興味・関心を持ってもらうための配信回数を目標値（8回/月+4回）として設定。令和8年度は実績値を踏まえ、現状を維持しつつ、配信内容の質的向上も考慮した上で、目標値を設定。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	生物多様性保全推進事業	事業番号	010-012
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,285	6,279	7,484	6,975	7,629
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	1,285	6,279	7,484	6,975	7,629
14	人件費（b）	18,630	18,630	28,560	28,560	28,580
15	年間経費（c）=(a)+(b)	19,915	24,909	36,044	35,535	36,209

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	堺市プロポーザル方式による委託業務事業者選定委員会委員報酬	R7	決算	0	0	クビアカツヤカミキリ対策関連費	R7	決算	773	773
		R8	予算	62	62		R8	予算	1,043	1,043
	謝礼金	R7	決算	531	531	生物多様性センター（webサイト）保守管理業務	R7	決算	878	878
		R8	予算	787	787		R8	予算	878	878
	その他報償費	R7	決算	16	16	堺市レッドリスト・堺市外来種アラートリスト改訂支援業務	R7	決算	4,620	4,620
		R8	予算	20	20		R8	予算	4,620	4,620
	消耗品費	R7	決算	103	103	その他	R7	決算	54	54
		R8	予算	124	124		R8	予算	55	55
	印刷製本費	R7	決算	0	0		R7	決算		
		R8	予算	40	40		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 「堺いきもの情報館」の写真投稿件数	件	2,701	2,258
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,046	2,899
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,128	1,284
	算出についての説明等	堺いきもの情報館運用に係るサーバ借上等事務費及び人件費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度から実施している「堺クビアカ防除大作戦」関連の事務により、事業コストが増加したが、写真投稿された「いきもの」の名前の特定に係る事務においてITツールを活用するなど、事務の効率化に努めた。 また、情報館では、ウェブイベント等各種コンテンツの充実のほか、外来生物問題や生物多様性に関する情報発信を積極的に実施しており、当課で運用しているInstagramについても、情報館と連動した効果的な情報発信を行い、より一層費用対効果を考慮した取組を推進している。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	ウェブサイト「堺いきもの情報館」やInstagramの積極的活用等により市民等に対し効果的な情報発信のほか、講習会の開催やイベント等への出展により、市民の生物多様性への認知度等の向上に寄与している。 「堺いきもの情報館」における「いきもの発見報告」は、市民等から目標を超える多くの投稿をいただいている。自らが見つけたいきものを報告することで、自然との関わりが「受け身」から「能動的」になるほか、学びが体験を通じて深まり記憶にも残りやすいなど、身近にある生態系や緑の保全を考えてもらう契機となっており、その投稿数が増えることで、市民の生物多様性の認知度を高めることや生物多様性に配慮した活動の促進につながっている。 また、Instagramでの堺に生息するいきもの等の情報を配信することにより、市民等の興味・関心を喚起し、いきもの発見・観察意欲につながっている。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、令和5年度まで「堺いきもの情報館」における写真投稿件数は継続して目標値（1,500件）を達成していたことから、令和6年度から目標を2,500件に引き上げた。令和7年度は当該目標の達成には至らなかったが、当初目標である1,500件は継続して達成しており、市民による投稿行動は一定程度定着している。今後は、さらなる参加の裾野拡大に向け、利用促進の取組をより一層推進する必要がある。 また、SNSによる情報発信やイベント等の実施により、生物多様性の認知度向上及び配慮行動の促進に寄与している。
	有効性	■ 高い □ 低い	さらに、外来生物に関する正しい知識の普及や市民等による防除行動の促進、生物の生息状況の把握に資する基礎資料の更新が求められている。 これらを踏まえると、本事業は、市民の認知度向上や理解促進に加え、行動変容の促進に寄与しており、有効性は高く、生物多様性の保全を推進する上で必要性は高い。